

平成26年11月25日

第7回桜ケア運営推進会議 議事録

複合型サービス桜ケア西線6条

管理者 加藤 寛子

1. 日時 平成26年11月17日(月) 16:00～

2. 場所 桜ケア2F リビング

3. 出席者

中央区第一地域包括支援センター 西牧 様

町内会会長 佐藤 様

利用者様ご家族 小沢 様 大石 様 岡本 様

(株)さくら生活サポート 代表取締役 中井 朗友

桜ケア西線6条 管理者 加藤 寛子

サービス付き高齢者向け住宅花らいふ 管理者 川岸 英治

議題

1) について～11/17現在の利用状況は、登録者20名です。(登録定員24名)

要介護1	11名	男4女7
要介護2	4名	男3女1
要介護3	2名	女2
要介護4	2名	女2
要介護5	1名	女1

◎職員の配置人数～介護職員 11名 看護職員 7名

通いと訪問の利用者様に対して、5名から6名の介護・看護職員が日中おります。

夜間、20時から朝7時まで介護職員1名が夜勤をしております。

(夜勤者は16時～朝10時勤務)

22時より、宿直職員が泊まり、何かあった場合の対応に備えております。

夜間は主に夜勤者が仕事をしますが、緊急事態に対応できるよう宿直職員を

配置し、対応しております。何かあった場合稼働しています。

2) については、別紙参照。(行事の案内)

花さく便り参照 配布済み

原気体操レクリエーション11/23

クリスマス会 12/21(日)

ご案内のお手紙はご家族様に配布済み

お誕生会は個別に行っています。職員の手作りケーキが好評です。

◎避難訓練～11/25（火）15：30 夜間を想定し、希望者は2階から避難（踊り場まで）

3）事故報告、その他

◎事故報告

10月
11月

ありません。

◎その他

認知症について～別紙参照

◎アンケートの集計につきましては、次回運営推進会議にて。すでに返送
いただいているご家族様、お忙しい中、ご協力ありがとうございます。

いまの所、配布した分の半分位の返信を頂いております。9通

4）質疑応答

認知症の方の対応について、お話ししました。ご本人の言っている事を否定せず、受け入れる(受容)
事が大切で、妄想やつじつまが合わないような話でも、「そうなんですね。」と受け入れる事が必
要です。又、落ち着かなくなる、不安になるのには、理由があるという事もお話の中で出ました。

利用者様の中で、物が無くなった（ご自分でしまってどこにあるかわからなくなる）
と話されることがあると、それを聞いた方が、「私も、実は…」となるケースが多く
話が大きくなることがあります。そうなると、何人かの方が、不安になったり、落ち着
かなくなったり、近しい人に疑いがかかったりと言うことがあります。

そのような話題で、お話が進んでいる時には、職員が間に入って話題を変える、ゲーム
やレクで座っている位置を変える等、対応しその場の空気、雰囲気を変える等します。
ただ、それで不安が消えるわけではなく、嫌な事、辛い事、困ったことなどの感情は残
るので、お話をよく傾聴し安心して頂けるような接し方が大事です。

別紙「8 認知症の人への支援とは」の●基本姿勢●、●具体的な対応の7つのポイント●
をお話ししました。職員もこのような点に留意しながら接していくよう心掛けています。

職員が、変わった時、新しい職員が入った時も不安になったりします。

・ご家族様より

上記のお話で、不安になって家族に電話をしてくるのには、やはり理由があると言う事
がわかって良かった。それによって対応を考えられる、電話を受けた時の声のかけ方を気
を付ける事が必要と思います。との事でした。

・他 ご家族様より

- 病院などに出かけて帰って来た時に、職員に「お帰りなさい〇〇さん。待ってましたよ」と声を掛けてもらえるのが、本人もとてもうれしいようです。
 - 認知症については、周りの理解も必要で、こういう会議の場で家族同士話が出来るので良いのですが、他のご家族も参加して話が出来たら…と思う。
 - その他、病院に入院して病院から付き添いを付けてほしいと言われて大変だったことや、看護師さんに迷惑を掛けて早めに退院してきた話など、ご家族の苦労話等もありました。
- ※一部、ご家族のお話は、個人情報や病名等は省かせて頂いています。

⇒包括支援センターの西牧様より、「認知症サポーター講座」を、ここで行って他のご家族も参加できると良いのでは…とのお話がありました。

社長の中井と管理者加藤は、受講済みで、今後職員やご家族様が参加できるよう検討したいと思います。

・中井社長より

- 家族が介護するのは、本当に難しく、昔の元気だった時の、しっかりしていた親の姿を覚えているとなかなか、現状を受け止められずつい強く言ってしまうたりします。こういう介護の仕事をするようになって、何とか感情を抑えて親と接する事ができるようになってきました。

・加藤より

本日は皆様お忙しい中、ありがとうございました。ご家族様同士お話をすることで現状が分かり合えると言うのは大変良いと思います。

認知症の方の対応は、私達職員でも難しい場面が多いです。接し方、声の掛け方、受け止め方等、その方の不安や思いを受容し、汲み取って対応しなければならず、安心して頂けるような対応をしていきたいと思っています。

出来れば、いつも来て下さるご家族以外の会議参加も頂けたらと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

次回は、年明け1月の開催となります。近くなったらご案内いたします。よろしくお願いします。

複合型サービス桜ケア西線6条 管理者 加藤 寛子

064-0806 札幌市中央区南6条西15丁目2番12号

☎011-551-7200 fax011-551-7500